

鉄道建設・運輸施設整備支援機構発行（2019年8月）の 「サステナビリティボンド」の取得について

こくみん共済 coop 〈全労済〉（全国労働者共済生活協同組合連合会 代表理事理事長：中世古 廣司）は、このたび、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構が発行したサステナビリティボンド※（以下、本債券）を取得しました。

※ 「サステナビリティボンド」とは、調達資金の用途が、①環境改善効果があること（グリーン性）および、②社会的課題の解決に資するものであること（ソーシャル性）の双方を有する債券です。

本債券発行による調達資金は、「鉄道建設プロジェクト」と「船舶共有建造プロジェクト」のファイナンスおよびリファイナンスに充当される予定です。両プロジェクトは、国連の持続可能な開発目標（SDGs）^{注1)}の達成にも貢献するものです。

当会は、「New-Zetwork（2018年度～2021年度中期経営政策）」において、持続可能な社会づくり・セーフティネットづくりに取り組むことを掲げています。この具体的な取り組みの一つとして、資産運用方針の中で ESG 運用（環境・社会・企業統治に配慮している発行体を重視・選別して行う運用）を実施していくこととしており、SDGs の達成に貢献する本債券の取得を決定いたしました。

当会は、理念である「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」の実践の一環として、今後も ESG 運用を含めた持続可能な社会づくり・セーフティネットづくりに取り組んでまいります。

注1) 持続可能な開発目標（SDGs）とは、2015年9月の国連持続可能な開発サミットにて採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が掲げる、加盟各国が2030年までに達成すべき17の目標と169のターゲット

以上

全労済から
「こくみん共済 coop」へ

たすけあいの輪をむすぶ